

# 2023年度 出張講義・講演等一覧【高校生対象】について

## 【講座内容】

1. 医療福祉に関する職業の魅力をお話します。
2. 高等学校での学習内容をサポートします。
3. 学問研究についての内容をわかりやすく説明します。

学科	氏名	講義・講演テーマ等	講座内容
医療福祉学科	植田 嘉好子	「ボランティアへの第一歩」 ボランティアになじみのある人もない人も、そもそもボランティアとは何か、考えてみましょう。さまざまな場面で行われているボランティア活動から、自分にできるボランティアを見つけたい。他人のため、社会のため、自分のために、第一歩を踏み出してみよう。	2, 3
		「人々の生きる意味を支える」 突然病気や事故に遭った時、私たちは早く治りたい、元気になりたいと願います。しかし、その病気が治らない、あるいはあと少ししか生きられないと分かった時、本人や家族をどのように支えることができるでしょうか。	1, 3
	岡本 宣雄	「高齢者を介護する仕事とは」 介護は豊かな人生の実現のために、生活の視点から行われる専門性のともなう大切な仕事です。介護の仕事の魅力とその実際について共に学びましょう。	1
		「認知症を理解する」 私たちの身近に認知症の方が大勢おられます。認知症の方への支援はまずは認知症の理解から始まります。認知症の方が地域で安心して生活するために必要なことは何か共に考えてみましょう。	2, 3
	小川 知晶	「地域の中で自分らしく暮らす～権利擁護の視点とは～」 判断能力に不安のある人の権利を守るための成年後見制度について学び、誰もが安心して地域で暮らすために私たちができることを考えましょう。	3
		「コロナ禍における私たちの暮らしと福祉のかかわり」 新型コロナウイルス感染症(コロナ)の拡がりは、私たちの暮らしに大きな影響をもたらしました。このような中、生活に不安を抱える方への支援についてお話します。	2, 3
		「高齢ドライバーによる運転事故から福祉を考える」 なぜ高齢ドライバーの事故が増えているのか、高齢者の身体症状の変化や社会制度などを理解し、福祉的な観点から事故を防ぐにはどうしたらよいかを考えます。	2, 3
	小田桐 早苗	「自閉症の理解」 自閉症の特性について模擬体験を含めお伝えします。	2, 3
		「障がい者とその家族支援について」 障がいのある方とその家族のための支援とは何か、一緒に考えます。	2, 3
		「障がいのある人と働くとは」 障がいのある方と働くということについて、周囲にいる人たちの視点から考えてみましょう。	2, 3
	後藤 祐之	「福祉の現場で自分を活かす～相談からものづくりまで～」 福祉サービスの仕事では介護やソーシャルワークの専門的知識だけではなく、「一芸」が役に立ちます。歌やピアノが上手、木工で手製の看板や台車を作る、テントが扱える、お祭りの模擬店メニューを考える、一眼レフカメラで広報用写真が撮れる、など挙げれば切りがありません。「利用者の話を聞く」「車いすを押す」「食事の介助」といった固定的なイメージから離れて、福祉サービスの現場で生かせる自分の力を考えます。	1
	山本 茜	「自閉症の特性について」 自閉症の人の特性について、疑似体験をしながら学んでいきましょう。	3
		「福祉の仕事と社会福祉士」 意外と身近なところにある福祉。そして、福祉といっても様々な仕事があります。社会福祉士を中心に、人の生活を支える仕事にはどのようなものがあるか紹介します。	1
	諏訪 利明	「TEACCH Autism Programって何？」 自閉症の人たちと関わる時に、非常に有効なプログラムの一つとして世界的に認められているのがTEACCHプログラムです。自閉症って何だろう？ 障害って何だろう？ TEACCHの考え方に触れて、自分の中にある障害に対する偏見や差別感なども整理してみよう。	3
	竹中 麻由美	「生活を支える医療サービス」 人が生きていく上で、病気やけがは避けられません。そんな時、患者がより適切な医療を利用できるように助けるのが「医療サービス」です。生活と密接に関連した医療サービスの基本を学びます。	2, 3
		「人間関係がうまくいくコミュニケーション～聴く・話す・書く～」 日常生活での対人関係に役立つ具体的なコミュニケーション技術について体験します。適切なコミュニケーション技術を身につけることによって多くの人とつながることができ、自分の世界が広がります。	2, 3
		「ソーシャルワークって？」 社会福祉とソーシャルワーク、実は誰にとっても身近なものなのです。私たちの生活と密接に関係した社会福祉、ソーシャルワークについて学びます。	2, 3
	竹中 理香	「多文化社会に生きる」 様々な背景をもつ人々と共に生きる社会のあり方について、ある多文化家族の例をもとに考えます。	2, 3
		「コロナ禍で見えてきた私たちの社会の問題 一女性の自殺者数急増の背景にあるもの」 コロナ禍において女性の自殺者数が急増している問題について、DVあるいは貧困の問題と関わらせながらその背景にせまります。また、そうした問題を解決していくための方法や社会のあり方についても一緒に考えます。	2, 3
	田淵 泰子	「働くことで私を生きる～アナウンサーからソーシャルワーカーへ～」 アナウンサーからソーシャルワーカーに転職し、2つの天職に就いた体験を通じてソーシャルワーカーの仕事内容ややりがいについてお話し、キャリアプランや「働く」ことの意義について考える機会をいただきます。	1
「ストレスとは何か～ストレスマネジメント～」 「ストレス」とは、外界からの様々な刺激によって心身に負担がかかった状態であり、人は生きている限り、ストレスから避けられません。ストレス反応には個人差があります。自分にとってのストレスとは何かを知り、ストレスと上手につき合い、対処できる力「ストレスマネジメント」を身に付ける方法を共に学びます。		2	
「共に生きる」 女性・子ども・高齢者・外国人・障がい者・ハンセン病・HIV・インターネットによる人権・LGBT・犯罪被害者等々の人権を取り上げ、主に精神障害者への人権をテーマに、多様な人々と共に生きる社会にあり方についてお話します。皆さんの生活の中にある「人権」について、共に考える機会をいただきます。		2, 3	
「思春期のこころの病とは」 精神疾患「こころの病」は、日本の五大疾患の1つに指定され、急増している国民病です。思春期に好発する「統合失調症」は、精神疾患の二大疾患の1つです。「統合失調症」を主に、誰もが思春期に罹患する可能性がある「こころの病」について、精神疾患予防のための知識や治療、援助請求方法等メンタルヘルスリテラシーについて解説いたします。		2, 3	
直島 克樹	「現代社会と福祉」 貧困、孤立、自殺、ひきこもり等の現代社会の課題を、ソーシャルワークの視点からどのように解決できるか、お話します。	2	
	「児童虐待の実際と課題」 年々増加傾向にある児童虐待について、これから親になっていく若い世代が知るべきことを一緒に考えていきます。	2, 3	
	「人の生きる権利を考えよう～生活保護問題を通じて～」 日本において、人は健康で文化的な最低限度の生活を営むことができる権利が保障されています。しかしながら、実態は必ずしもそうとは言えない状況が散見されます。その点について、生活保護の誤解を紐解いていながら一緒に考えていきましょう。	2, 3	
仲井 達哉	「チーム医療の中のソーシャルワーカー(社会福祉士・精神保健福祉士)」 医療のなかのソーシャルワーカーは相談援助の専門職として、病気やケガという患者さんの人生の岐路に寄り添い、再出発に向けた第一歩を患者さんと一緒に考えます。患者さんの心と生活の代弁者として、チーム医療におけるソーシャルワーカーの役割とその意義についてお話します。	1	
	「家族介護者の“気持ち”を考える」 高齢社会のいま、介護は身近に存在するものとなりました。高齢者や障害のある家族を介護する人が抱える悩みや気持ちを、ストレス心理やメンタルヘルスの視点から一緒に考えましょう。	2	
中尾 竜二	「認知症になっても住み続ける地域をめざして」 認知症になっても住み慣れた地域で生活を続けることができる地域を目指すよう認知症を正しく理解し、自分や地域が何をしていくかを一緒に考えましょう。	2	
	「ソーシャルワーカーの仕事」 「地域」で生活する「人」やその「地域」を支えるための支援を行う「ソーシャルワーカー」の仕事を実践例を用いて一緒に勉強していきましょう。	1	
	「地域の底力の再発見～福祉ボランティア～」 地域共生社会の実現を目指す現在、地域では「支え手」、「受け手」ではなく誰もが参加する社会の構築が言われています。その中で専門職のみではなく地域の福祉ボランティア(民生委員、福祉委員)など地域を支える底力を再発見していきましょう。	2	

# 2023年度 出張講義・講演等一覧【高校生対象】について

学科	氏名	講義・講演テーマ等	講座内容
医療福祉学科	長崎 和則	「ソーシャルワーカーの仕事」 社会福祉士や精神保健福祉士はソーシャルワーカーの資格です。ソーシャルワーカーはどのような仕事をするのかについて、具体的な例をあげて、その魅力について伝えま	1
		「ピア(当事者同士)活動」 ソーシャルワークでは、専門職が直接カウンセリングを行ったり、相談ののたりますが、それ以外にもさまざまな支援をします。その一つに、同じ悩みを持った人同士が集まり、支えあう活動(ピア活動)があります。ピア活動について分かりやすく説明します。	1
		「『当事者研究』とはなにか」 精神障害者が地域で生活するための支援の中に、浦河へての家の活動から生まれた「当事者研究」があります。その人が生活をする上で困ったことを「生きて行く上での苦勞」と捉えて、その苦勞を語ってもらい、一緒に考え、自分の助けかたを学びます。最近、中学生や高校生の困りごとへの対応にも活用されるようになってきました。当事者研究とはなにか、どのように行うのかについて分かりやすく説明します。	1
	升野 光雄	「身近な遺伝から遺伝医療まで—ヒトの遺伝の理解のために—」 各診療科で遺伝情報をベースにした遺伝医療が行われています。発症前診断や出生前診断は生命にかかわる将来予測なので、遺伝カウンセリングによりご自身で納得のできる方針決定ができるように検査前から継続的な情報提供と心理社会的支援を行うことが決められています。ヒトは多様です。体質に合わせた薬の選択も始まっています。身近な話題からお話しします。	3
	山内 泰子	「なぜ社会福祉をやるのか」 みんなで福祉を行う意味や必要であるかについて一緒に考えましょう。	2, 3
臨床心理学科	臨床心理学科 教員一同 主な担当(予定): 進藤貴子(学科長)、池内由子、岡野維新、則武良英、本城瑞恵、他(いずれも有資格)	「公認心理師・臨床心理士の仕事」 公認心理師は、心理専門職に対するニーズの高まりを受けて2017年の公認心理師法施行により誕生した国家資格です。臨床心理士は、文部科学省のスクールカウンセラー事業にも採用されてきた、30年以上の歴史を有する職能資格です。いずれも、不登校、子育ての悩み、障がい、ストレスなど、心にかかわるさまざまな問題を抱える人やその周囲の人たちを、専門性にもとづいて支えます。医療現場におけるチーム医療、教育現場におけるチーム学校など、さまざまな職種において他職種との連携を図りながら、悩みを抱える人の心を見つめ、支えます。また、広く一般の人々に向けて心の健康に対する知識を広く知ってもらうための情報を発信します。	1
	荒井 佐和子	「心理学入門」 大学に進学すると専門分野の学びを深めることはもちろんのこと、幅広い知識・教養を身に付ける教養科目も履修します。教養科目として学ぶことの多い心理学の講義を一足先に体験してもらい進路選択のきっかけにしてもらえればと思います。	2, 3
	今里 有紀子	「話を聴くとは？」 カウンセリング、心理療法で話を聴く場合と、日常生活で話を聞く場合は何かききかたが違うようです。専門的な耳の傾け方やその姿勢や態度について、日常の話を聞き方と比較しながら少しロールプレイを通して学んでみませんか。	3
	池内 由子	「ストレスとうまくつきあおう」 ストレスのしくみや対処の仕方について、実際にリラクゼーションのワークを体験していただきながらお話ししたいと思います。	2, 3
	岡野 維新	「発達障害と臨床心理学」 発達障害のある方やその家族への支援について、臨床心理士として児童精神科の臨床現場で得た経験をふまえてお話をできたらと思います。	3
	門田 昌子	「なぜヒトは、自動販売機で商品が出てこない時、もう一度押してしまうのだろう？」 心理学の代表的な理論である「学習理論」について、ワークを体験していただきながらお話ししたいと思います。	3
	齊藤 由美	「誰かを支援するってどんなこと？」 「誰かの支えになりたい」という思いを実際に行動に移すとき、どのようなことが大切になるのでしょうか。具体的な場面を通してお伝えします。	2, 3
	佐々木 新	「自閉症について知る」 自閉症という発達障害について、その特徴をお話しします。	3
	進藤 貴子	「カウンセラーの仕事」 臨床心理の現場ははば広く、新しい領域もふえています。心理支援をおこなう国家資格「公認心理師」の活躍も待たれています。スクールカウンセラーのほか、カウンセラーはほとんどどこで働き、人々の人生のどんな側面に触れているのか、また、カウンセラーがおこなっている自分の心の保ち方などについて、お話をできればと思います。	1
	澤原 光彦	「こころの病気とは？」「精神科医のお仕事」「精神科と心療内科はどう違う？」「精神科医と臨床心理士/公認心理師はどう違う？」「精神医学入門」等 精神医学とは、どのような学問領域で、どのような疾患・障害を対象とし、どのような治療方法があるのか、… いくらでもお話しすることはあるのです。	1, 3
	高尾 堅司	「社会心理学的にみた防災」 「自然災害にどう備えるか」「住んでいるところは災害リスクが高いか」に関する情報提供ではなく、社会心理学的な観点から防災について解説します。	3
	瀧川 真也	「記憶と感情の不思議な関係」 「悲しい音楽を聴くと、なぜか昔の悲しい記憶を思い出ししてしまう」「懐かしさを感じると、昔の思い出をその当時に戻ったかのようにありありと思い出す」このような記憶と感情の深く不思議な関係についてお話しします。	3
	武井 祐子	「子どもの心を理解する」 だれもが経験してきたはずの子どもの心の成り立ちを、心理学という立場から理解したうえで、子どもと上手に関わるコツなども学びます。	3
	竹内 いつ子	「イメージ表現を介した他者との関わり」 身体を動かす、絵を描く、はたまたまよつとした落書きでも気持ちを表したり、人と関わるきっかけになることがあります。実際に体験して頂きながら、臨床現場でも使われるいくつかの方法をご紹介します。	2, 3
	谷原 弘之	「ストレスの対処法」 誰でもストレスは感じると思います。メカニズムを知ってストレスとの上手な付き合い方を知り、自分流の対処法を見つけてみましょう。	2, 3
	中村 有里	「精神障害ってなに？」 精神障害(特に、統合失調症、気分障害)の症状と心理的支援についてお話しします。	3
	則武 良英	「プレッシャーに負けない方法ってあるの？」 学校での試験や大学入試など、プレッシャーを感じる場面は数多くあります。プレッシャーを感じている状況では、「失敗したくない」と思えば思うほど緊張してしまい、失敗してしまいます。そこで心理学の視点から、プレッシャーに負けない方法を解説します。	2, 3
	林 明弘	「哲学入門」言葉の理解について、なぜ日常言葉は分かるのに、勉強のことは難しいのか 数学と英語では、「理解する」ということの意味がそもそも違います。どの科目にもあるのですが…	3
	福岡 欣治	「コミュニケーション力(りよく)について考える」 「コミュニケーション能力の重要性」がよく言われます。適切なコミュニケーションのためには、何が必要なのでしょう。また、そもそもコミュニケーションとは？ 私たちの身近な人間関係を扱う「社会心理学」を背景に、「コミュニケーション力(りよく)」について、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。	3
		「生活習慣をととのえる…のはむずかしい！?—「健康行動」の心理学」 夜ふかし、食べ過ぎ、運動不足……といったことにならないよう、生活習慣をととのえることは大切です。勉強にも、部活動にも、でも、わかっちゃいるけどやめられない……という人たちがだて、もしかしたらいるかもしれません。いったい、どうしてできないの？ じゃあ、どうしたらできるの？ “健康的に過ごすこと”を扱う「健康心理学」をもとにご説明し、みなさんにも考えてもらいたいと思います。	3
保野 孝弘	「睡眠習慣の見直しで、あなたの学力、体力、魅力 ぐんと アップ！」 夜更かし生活をすると、心身にどのような影響が及ぶのかを、クイズや歌などをまじえて、わかりやすく、楽しくお話しします。イライラや眠気、体調不良などの影響に加え、近年、学習成果と睡眠時間との関係が明らかになってきました。スマホ、タブレットが睡眠に与える影響もお伝えします。	2, 3	
	「相手にすぐにかっとならない方法」、「相手の話を聴く方法」を日常生活に活かす！ 先ずは、深呼吸しよう！ 聴こう！」 心理学を専攻した私自身の豊富な失敗談を基にして、友達関係、家族関係などで、心地よい人間関係を作るには、先ずは「かっとならないこと」「聴くこと」が大切であることを、わかりやすく楽しく伝えます。	2, 3	
	「出会いの心理学 その出会いが、あなたを変えるかもしれない」 高校や大学で出会う人やものが、あなたの人生を大きく左右するかもしれません。心理学における出会いの研究、歴史上の人物に見られる出会いなどを紹介しながら、青年期における出会いの大切さをお話しします。	2, 3	
本城 瑞恵	「臨床心理学—心理面接—入門」 心理学的援助を目的とした「臨床心理学」は、「心の専門家」とも言われる公認心理師・臨床心理士の学問的基盤となっています。その内容は、「心理検査」「心理面接」「地域援助」「調査研究」の4種領域に大別されますが、本講義では「心理面接」を中心に、ご紹介いたします。	1, 3	
水子 学	「脳損傷から見る心の不思議」 交通事故や脳の病気によって脳が傷つくと、心の世界にも変化が生じます。脳損傷に伴って出現する具体的な症状を紹介しながら、脳が生み出す心の仕組みについてお話しします。	3	
山根 嵩史	「心理学の立場からみる効果的な勉強法」 「〇〇すれば頭が良くなる」、「▲▲で記憶力が高まる」といった、メディアで目にする勉強法はどの程度信用できるのでしょうか。本講義では、教育心理学・認知心理学の立場から、学術的な背景に基づいた学力への影響要因についてご紹介いたします。	3	

## 2023年度 出張講義・講演等一覧【高校生対象】について

学科	氏名	講義・講演テーマ等	講座内容
子ども医療福祉学科	青井 則子	「音楽の効果を活かした総合的な表現(オペレッタ)の制作」 オペレッタとは、踊りのある音楽付きの歌劇のことです。オペレッタを制作するためには、音楽や踊りだけでなく、衣装や大道具・小道具、ストーリーの展開や台詞の言い回しと様々な表現を総合的に用いることが求められます。オペレッタの制作過程をご紹介しますとともに、完成に至るまでの苦労や学生達の成長についてお話します。	2
	大江 由美	「保育士・幼稚園教諭・保育教諭の仕事の魅力」 保育士や幼稚園教諭、保育教諭の仕事の魅力についてお話します。また、小さい頃に遊んでいた「わらべうた」や発達障がい児保育など、専門資格・免許状を取得するために学習する内容や保育の方法について、演習を交えてお話します。	1
	岡正 寛子	「わたし」と「あなた」を知る～対人援助の基礎～ 「私にとって大切なことが、他人にとってあまり大切ではなかった」という経験はありませんか。これは、自分と他者の価値観が影響しています。保育士や幼稚園教諭、精神保健福祉士は「人」と関わり、支援する仕事です。相手と自分の違いを認めたくえでの関係づくりについて考えます(演習あり)。	1
	尾崎 公彦	「一枚の紙から～笑顔創造！」 子どもを対象として、一枚の紙から広がる様々な造形活動を行います。一枚の紙を切ったり折ったりし、様々な遊びを作りだし、豊かなコミュニケーションを生み出し、笑顔を創造してゆきます。	2
	笹川 拓也	「福祉」について考える 少子・高齢社会を背景に、福祉ニーズが多様化・複雑化してきています。そうしたなか、我々の生活を支える福祉がどうあるべきか考えていきます。	1
	重松 孝治	「発達障がいについて」 近年注目される発達障がいについて、発達障がいとはなにか、日々の生活の中でどのように私たちと違う感じ方をしているか、そして側にいる人たちはどのように接するべきかについてお話します。	1
		「子どもと保護者を支援する仕事」 他の人が気づかないような子どもの思いや小さな育ちに気づき、子どもや家族と喜び合うことに幸せを感じる職業であることをお話します。 「感情を見つけてみよう」 不安や怒り等の感情についてどのように気づき、付き合っていくか、発達障がいのある人を含め、分かりやすくお話します(演習あり)。	2
	種村 暁也	「チームで協力！しようがいくふく！」 みんなで住みやすい地域を作るため、医療福祉に携わる我々は努力を重ねています。チームで協力する大切さややりがいを、具体例や実践例を交えて、お話しさせていただきます。	1, 3
	中川 智之	「保育者の仕事」 子どもの成長を支援するために、私たちはどんなことができるでしょうか。子どもの成長を支援する方法について一緒に考える中で、保育園・幼稚園・認定こども園に勤務する保育者の仕事の内容や職場についてお話します。	1
		「子どもの成長の支援」 子どもの成長を支援するために、私たちはどんなことができるでしょうか。子どもの成長を支援する方法について一緒に考える中で、保育園・幼稚園・認定こども園に勤務する保育者の仕事の内容や職場についてお話します。	1, 3
	橋本 勇人	「医療福祉学の成り立ちから子ども医療福祉学への展開」 世界初の博士(医療福祉学)の学位取得者の一人として、医療と福祉の連続性を高齢者・子どもを例に挙げ説明します。世界最先端の取組として注目されているニューボラと、保育とソーシャルワークの一体的展開についても紹介します。	1, 3
		「日本初が日本を愛した！こども家庭庁への展開」 2023年度に発足することも家庭庁の果たす役割について、その実情を世界最先端の取組として注目されているニューボラと、保育とソーシャルワークの一体的展開の観点から紹介します。乳幼児期の教育・保育が、その人の一生を左右することがOECDの調査により実証されつつあります。OECDに代表される世界の流れと、こども家庭庁の合流点を、子どもの最善の利益という観点からお話します。	1, 3
	藤澤 智子	「障がいのある子どもと関わる仕事」 障がいのある子どもと関わる仕事について、職場や勤務する保育者の具体的な仕事内容とその魅力についてお話します。	1
	松本 優作	「精神保健福祉士ってどんなお仕事？」 「精神保健福祉士」と聞いて、みなさんはどのようなイメージをもつでしょうか。精神保健福祉士の仕事について、具体例を挙げながらお話します。また、保育士・幼稚園教諭1種免許状に加えて精神保健福祉士を取得することができる日本初の学科—子ども医療福祉学科—が目指す新しいタイプの子どもの支援者の姿についてお話します。	1, 3
森本 寛訓	「対人援助職者のこころ」 医療・福祉の分野で看護や介護、保育といった対人援助に従事する人々を「対人援助職者」と言います。対人援助職者として現場で働くときに参考になる心のあり方について簡単にお話します。	1	
保健看護学科	池上 邦子	「障害をもちながら生活する人への看護」 障害とともに生活する人を支援する看護師の役割についてお話します。	1
	石田 実知子	「思春期におけるストレスコントロールと相談先の紹介」 ストレスについて知り、楽しい時間を過ごせるような対処法についてお話します。	2, 3
	石井 陽子	「地域の人々の健康を支援する—看護職の役割—」 地域の人々の健康を支援する保健師や看護師の仕事について、具体例とともにお話します。	1
	伊藤 真理	「もしもの時のための人生会議」 もしも、自分が急に交通事故にあつたら、重い病気になったら、そんな時に備えて親しい家族や友人と人生会議をしておこう。そんな、アドバンス・ケア・プランニングについてお話します。	1, 3
	井上 清香	「病気をもち子どもの関わり方について」 様々な気持ちを抱える子どもに寄り添うためのコミュニケーション方法を一緒に考えましょう。	1
	岩本 真弓	「地域の人々の健康づくりを支援する行政保健師の役割」 住民とともに地域の健康づくりに取り組む行政保健師の仕事についてお話します。	1
	上野 瑞子	「看護師のキャリアについて」 病院から地域まで様々な場所で活躍している看護師のキャリア形成についてお話します。	1
	大倉 美穂	「日常生活に役立つ看護の知識」 看護師が行う生活援助技術をエビデンスに基づいてお話します。	1, 3
	大田 直実	「看護師の仕事に求められる能力」 看護師に求められる能力と大学での勉強内容についてお話します。	1
	太田 浩子	「生活習慣と病気」 生活習慣病と予防について、お話します。	2, 3
	小野 安佳里	「看護師のなり方とお仕事について」 看護師や保健師、助産師になるための方法、大学で学ぶこと、看護師になってからの仕事内容や活躍の場などについてお話します。	1
	香西 早苗	「子どものQOLについて」 子どもの心と身体の健康度や満足度についてお話します。	3
	小藪 智子	「高齢者とのコミュニケーションについて」 長い年月を生きてこられた高齢者、視力や聴力が低下して行く高齢者と、コミュニケーションをとる際のポイントについてお話します。	2, 3
	佐藤 久恵	「妊孕性(妊娠できる能力)とライフプラン」 将来の夢がありますか。男女の性機能や妊孕性に触れ、一緒にライフプランを考えたいと思います。	2
	園田 由美	「考えてみよう 生活習慣病予防」 生活習慣病は、身体だけでなく心理・社会的にも影響を及ぼすことなどを踏まえて、予防について一緒に考えたいと思います。	3
	滝川 節子	「豊かな人生を築くために、心と体の変化と性の健康について考えよう」 思春期の皆さんと心と体の変化や、性、デートDVなどについて一緒に考えましょう。	1
	竹田 恵子	「高齢者のこころからだ」 加齢に伴って生じる心身の変化を知り、高齢者の健康について考えます。	1
谷野 宏美	「赤ちゃんの不思議」 お腹の中で10か月を過ごす胎児。生まれてすぐに一人で呼吸をはじめた新生児。どのような能力を備えて生まれてくるのかについてお話します。	2, 3	

## 2023年度 出張講義・講演等一覧【高校生対象】について

学科	氏名	講義・講演テーマ等	講座内容
保健看護学科	富田 早苗	「 <b>保健師の仕事</b> 赤ちゃんから高齢者まで、地域で働く保健師について話します。	1
	中桐 亜紀	「 <b>助産師の魅力</b> 助産師という職業とは？どうしたらなれる？助産師の魅力や命の誕生の尊さについてお話し致します。	1
	中新 美保子	「 <b>病気の子どもを育てるために必要なチーム医療</b> 先天性疾患をもつ子どもと家族が、チーム医療の提供の中で病氣と向き合い、乗り越えて行く状況をお話します。	1, 3
	永井 庸央	「 <b>骨髄移植ってなんだろ？</b> 骨髄移植とはどのようなものか、看護師はどんな援助を行っているのかお話しします。	1
	西田 洋子	「 <b>私はなぜやせたいのか？-文化的側面から考える健康問題-</b> あなたがやせたいのは、あなた自身の真の願いではないかもしれません。日本社会における「やせ=美・善」という価値観と保健行動の関係性から、「私はなぜやせたいのか」を考えます。	3
	原田 さゆり	「 <b>あなたの大切な未来のために、命と性について考えよう</b> 思春期の皆さんと命、性、デートDVについて一緒に考えたいと思います。	1, 2
	廣川 恵子	「 <b>大切な人ががんになったら・・・</b> がんになった人とどのように向き合ったらいいか一緒に考えましょう。	3
	細川 京子	「 <b>病院前救急とドクターヘリから理解するチーム医療</b> 病院外でもチーム医療は行われています。ドクターヘリが活躍する病院前救急での多職種の間わりと救急看護についてお話しします。	1
	松田 美鈴	「 <b>チーム医療の中の看護師の役割</b> チーム医療の中の看護師の役割について、体験をもとにやりがいや魅力についてお話しします。	1
	宮川 藍	「 <b>多職種連携の中の看護師の役割とその魅力</b> 医療福祉にはいろいろな職種のチームワークが必要です。その中の看護師の役割と、その魅力についてお話しします。	1
	宮脇 倫子	「 <b>看護師は患者さんの何をみて何を考えているの？</b> 看護を必要とする人を目の前にしたときの看護師の認識の在り方をお話します。	1
	森戸 雅子	「 <b>在宅療養を支援する訪問看護師とチーム医療</b> 療養者や家族が住み慣れた地域で継続支援する訪問看護師の役割と多職種で協働するチーム医療についてお話しします。	1
	守屋 文夫	「 <b>薬物乱用により触れられる心身</b> 覚せい剤や大麻などの法的規制薬物及びお酒やタバコといった生活嗜好品の摂取が心身に与える障害作用(医学的合併症)についてわかりやすく解説します。	2, 3
理学療法学科	石田 弘	「 <b>理学療法士・作業療法士ってどんな仕事？～リハビリテーションを担う医療専門職～</b> ①学習内容や就職、②理学療法・作業療法の特徴、③活躍の場についてお話しします。	1
	伊藤 智崇	「 <b>理学療法について</b> 理学療法士を志す方々に、理学療法士の活躍するフィールドや、理学療法とは具体的にどのようなことを行う仕事なのか理解を深めてもらえるようお話しします。	1
	氏川 拓也	「 <b>内科疾患とリハビリテーションについて</b> リハビリテーションと言われると整形疾患や脳血管疾患をイメージする人が多いと思います。現在では、心疾患や呼吸器疾患、代謝疾患などの内科疾患でもリハビリテーションの重要性が知られてきています。どのようなことをするのか、どのような効果があるのかなどについて、わかりやすくお話しします。	1
	大坂 裕	「 <b>理学療法士・作業療法士を目指すために</b> リハビリテーション専門職である理学療法士、作業療法士について、仕事の内容や働くフィールド、大学で何を学ぶか、目指すために必要な勉強について分かりやすくお話しします。	1, 2
		「 <b>歩くことの大切さ</b> 普段我々は何気なく歩いています。ヒトは進化の過程で直立二足歩行を獲得した地球上で唯一の生物です。直立二足歩行を獲得したことにより、どのような影響があったのでしょうか。直立二足歩行の獲得と、リハビリテーションの繋がり、歩くことの大切さを分かりやすくお話しします。	3
	澳 昂佑	「 <b>スポーツに関わる理学療法の役割について</b> スポーツ現場において理学療法士がどのように関わっているか、スポーツ障害の予防や、怪我の後のリハビリテーションの重要性について説明します。	1
	木村 大輔	「 <b>ヒトの動きとリハビリテーション医療</b> ヒトがどのように動いているのか。それに基づいてリハビリテーション医療は行われています。基本的な人の動きのメカニズムとリハビリテーション医療、特に理学療法への応用をお話しします。	1
	國安 勝司	「 <b>理学療法について</b> リハビリテーションに関わる職種に関心のある方をはじめ、広く一般の方々に理学療法とは何かを、わかりやすくご説明します。本来のリハビリテーションの意味を理解していただき、その中で理学療法はどのような役割があるかをお話しします。	1
	小原 謙一	「 <b>理学療法士を目指すなら知っておきたい力学の基礎知識</b> 「この重さの重りは、腕の筋肉にどれくらいの負荷になるの?」「片足立ちのときに、股関節にはどれくらい体重がかかっているの?」など、理学療法士が理学療法を実施するうえで知っておくべき力学の基礎知識について、その応用例を臨床場面から挙げながらわかりやすく説明します(物理が苦手な君も大丈夫!なはず...)。	1
	末廣 忠延	「 <b>腰痛予防と理学療法について</b> 腰痛は、生涯を通じて60～80%の人が経験するとされており、腰痛を予防することは、生活の質を向上するために重要です。そこで腰痛の予防や治療のために実施する運動療法や日常生活の注意点について説明いたします。	1
	高橋 尚	「 <b>理学療法士とは</b> リハビリテーション医療の概念について説明し、その中の理学療法士の役割や仕事内容についてわかりやすくお話しします。	1
	永田 裕恒	「 <b>小児リハビリテーションについて</b> 小児は成人をただ小さくしたものではありません。小児のリハビリテーションでは、成長と発達を常に念頭に置き進めていき、家族の協力も得なければリハビリテーションは進みません。その中において、PT・OTが果たす役割についてわかりやすく実例等を踏まえてお話しします。	1
	藤田 大介	「 <b>理学療法士になるには</b> 理学療法士の仕事内容と養成課程および国家試験についてわかりやすくお話しします。	1
		「 <b>車いす利用者への援助方法</b> 車いす利用者に対する乗り移りや移動などの介助方法についてわかりやすく説明します。	1
	松本 浩実	「 <b>運動で健康をコツコツ(骨)貯金(筋)しよう</b> 歳をとると骨粗鬆症といって、骨が脆くなり骨折をしやすくなります。骨を強くするには、カルシウムやビタミンD摂取などが重要ですが、最も必要なのは幼少期からの運動になります。どうすれば骨を強めて、骨折せずに健康に生活できるかをお話しします。	1
吉村 洋輔	「 <b>下肢切断者の義足での生活について</b> 病氣や外傷などのケガで下肢の切断をしないといけない方が少なくありません。そのような下肢切断者の生活や歩行を支援する義足についてわかりやすく説明をします。下肢切断の動向と下肢切断者のリハビリには欠かすことのできない義足について一緒に理解を深めてみませんか。また、発展途上国の中にはこのような日本の製品や技術が必要としている国も少なくありませんのでその事も紹介させていただきます。	1	
	「 <b>理学療法士のお仕事について</b> 理学療法士になってからの話をします。医療関係、保健・福祉関係、教育・研究関係、スポーツ関係など理学療法士の活動分野について説明します。	1	

## 2023年度 出張講義・講演等一覧【高校生対象】について

学科	氏名	講義・講演テーマ等	講座内容
作業療法学科	大岸 太一	「職場におけるストレスマネジメント方法」 働く上で知っておきたい、ストレスマネジメントの方法について対人関係の観点から具体的にお伝えします。	1
	大野 宏明	「精神障害とリハビリテーション」 精神障害には、うつ病、統合失調症、神経症などの疾患があります。しかし、どのような症状に悩み、苦しみ、どのような生活上の障害を経験しながら暮らしているのかわかることは難しいものです。そこで、精神障害についての理解と、治療や作業療法を含めたリハビリテーションについてわかりやすくお話しします。	1
	小野 健一	「身体障害者の在宅介護」 現在の日本は超高齢化社会とも言われており、高齢者や身体障害者の介護を自宅で家族が行う在宅介護が必要となっています。そこで生じる介護負担について、負担の少ない介護の方法や、介護による気持ちのふさぎこみにならない工夫をわかりやすくお話しします。	1
		「地域リハビリテーションとは」 障害を持たれた方や高齢者の在宅生活の支援は、当事者と暮らす家族が携わるのではなく、地域の資源を有効に利用し包括的に支援する必要があります。その中で、地域リハビリテーションという観点から、介護予防や家族で行える介護法の説明や、地域における介護サービスの内容をわかりやすく説明します。	1
	岡本 幸	「作業療法士の役割について」 作業療法って何だろう、何をやるのだろう、作業療法士になるためにはどうしたらいいのだろう、リハビリテーション医療の中で作業療法士の役割や仕事内容、養成課程についてお話しします。	1
	金山 祐里	「リハビリテーションとは」 リハビリテーション医療の概念や、医療現場における役割などについて解説します。また、理学療法、作業療法の役割についても、違いがわかるように説明します。	1
		「認知症のリハビリテーション」 日本は高齢者の多い国です。認知症は高齢になると発症率が高くなります。認知症は発症を予防することが、とても大切といわれています。そこで今回は、認知症の予防についてや、認知症に対してどのようなリハビリテーションを行うのかなどわかりやすくお話しします。	1
	黒住 千春	「作業療法士になるには」 作業療法士はどんな仕事をするのか、実際の患者さんのエピソードを交えてお話しします。また、作業療法士になるために、養成校でどんなことを学ぶのか、またどんな技術を習得しなければならないのか分かり易く説明します。	1
	小池 康弘	「リハビリテーションにおける心の動き」 リハビリテーションにおける心の動きを主に「やる気」の観点からお話しさせていただきます。リハビリテーション対象者だけでなく、一般の方にも当てはまることも多いと思います。	1
	妹尾 勝利	「義手と作業療法」 上肢切断者に対する作業療法士の支援内容や義手について分かりやすくお話しします。	1
		「作業療法士のお仕事」 ここからただのリハビリテーション専門職である作業療法士のお仕事について分かりやすくお話しします。	1
	田中 順子	「対人スキルアップ！こんな方法あんな方法」 友人や家族と良い人間関係を築きたい、対人緊張が強い、将来対人サービス職に就きたい等のニーズに、今日から実践できる対人スキルアップのためのエクササイズや考え方を紹介します。	2, 3
	徳地 亮	「作業療法って、なんで作業??」 作業療法がリハビリテーションのひとつであることは何となくご存じですよね。しかし、なぜ「作業」なのでしょう。そこを知ると「作業療法って良い仕事ね」「作業療法って面白そう」と興味を持っていただけたらと思います。わかりやすく「作業」についてお話しさせていただきます。	1
	平田 淳也	「病院におけるPT・OTのお仕事」 PT・OTの活躍する現場は、医療機関や保健施設、福祉施設など多岐にわたります。その中でもPT・OTの多くが活躍している医療機関と、近年需要が高まっている在宅での仕事内容についてご説明いたします。	1
	福意 武史	「リハビリテーション医療の基礎知識」 リハビリテーションの概念について整理します。そして、リハビリテーション医療について解説します。具体的には、リハビリテーション医療の意義と役割、リハビリテーション医療の概要、そしてスタッフの連携と進め方について述べます。	1
	真鍋 圭	「精神科で行う作業療法とは?」 リハビリといえば身体的なもののイメージが強いですが作業療法は心に対してもアプローチを行います。では、どんな人を対象にどんな目的でどのようなことをしていくのかなどをお話しできればと思います。	1
	山形 隆造	「嚥下障害とはなにか」 近年、嚥下障害に対する社会的要や関心が高まっています。嚥下障害とは何なのか、基礎メカニズムから説明します。	1
		「作業療法士はどんな仕事だろう」 リハビリテーション医療について概説し、その中の作業療法士の役割や仕事内容について説明します。また、作業療法士の養成課程、国家試験についてもお話しします。	1
	用稲 丈人	「作業療法ってどんな仕事?」 リハビリテーションが目指すことはなにか? 理学療法士と作業療法士の違いとは? 作業療法士がどのような仕事なのか? などについてお話しします。また、どうすれば理学療法士や作業療法士になれるのか、養成校の選び方、就職先などについてもお話しします。	1
吉村 学	「発達障害児に関わる作業療法士について」 作業療法では、自閉症や注意欠如多動性障害などの発達に遅れのある子供に対して、「あそび」を通して発達と成長を促しています。どのように作業療法士は考え、発達に遅れのある子供たちと関わっているのか、実例を提示しながらお話しします。	1	
言語聴覚療学科	池野 雅裕	「『話すこと』と『食べること』からわかる言語聴覚士の仕事」 普段何気なく言葉を話したり、食べ物を食べたりしていますが、ある日突然病気になる「全く言葉を話せない」「食べ物を食べることができない」ということが想像できますか? 「話すこと」「食べること」のリハビリテーションを行う言語聴覚士の仕事を紹介します。	3
	太田 信子	「し忘れをふせぐ」 加齢や脳の病気で「し忘れ」がこります。「し忘れ」の仕組みと「予防方法」を説明します。また、高齢者と若年者の覚える方法の違いを解説します。	3
	川上 紀子	「聞こえてもわからないということ」 『音が聞こえない』ということと『こぼれが聞き取れない』ということは同じように思われがちですが、意味が異なります。この違いについての説明とそれによっておこる他の障害について、またそれらの問題点に言語聴覚士がどのように関わっていくのかをお話しします。	3
		「言語聴覚士の仕事について」 言語聴覚士が扱う障害や活躍している職場、他職種との関係などについて高校生のみなさんがイメージしやすいように説明します。	1
	塩見 将志	「吃音について—聞こえる症状と聞こえない症状—」 吃音には、聞こえる症状と聞こえない症状があります。本講義では、聞こえる症状と聞こえない症状について説明するとともに、吃音の重症化について解説します。	3
	時田 春樹	「私たちの生活を助ける! さまざまな脳の機能について」 私たちの何気ない普段の生活は、脳のさまざま機能によって支えられています。脳のメカニズムから、注意力や記憶力を高める方法まで説明します。	3
	永見 慎輔	「食事のリハビリテーションと誤嚥性肺炎」 呼吸器疾患における嚥下障害の病態生理を、栄養サポートの視点を踏まえお話しします。また、医療機器を用いた「のみこみ」のリハビリテーションについて解説します。	3
	八田 徳高	「聞こえにくさと情報保障」 日常のコミュニケーションは音声言語で行なわれています。しかし、聴覚障害になると情報が制限されます。音声の情報がどのように制限されるのか、またそれを保障する手段にはどのようなものがあるかを、実際に疑似聴覚を体験してもらうことにより具体的に解説します。	3
	福永 真哉	「医療と福祉を支える仕事—言語聴覚士の実態をお話しします!—」 言語聴覚士は、ことばと聴こえや飲み込みが不自由な方々のお手伝いをするコミュニケーションと嚥下障害のスペシャリストです。現在、日本では訓練や支援を必要とする患者さまの数に対し、言語聴覚士の数はまだまだ足りません。本講義では病院で働く言語聴覚士の仕事の実態についてお話しします。	1
	三村 邦子	「ことばの獲得—赤ちゃんはどうやって話すようになるのか—」 赤ちゃんの時には、泣きだけです。音域が広がって、やがてことばを覚え、話すようになります。日本語の発音は7歳までには、大人と同じようになります。こういった声と発音に関する発達についてお話しします。	3
	矢野 実郎	「いつまでも楽しく食べるための飲み込みの体操」 年齢が増すにつれて、飲み込み力が低下していきます。これを「老嚥(ろうえん)」と言います。誤嚥性肺炎を予防するための手軽な嚥下体操についてお話しします。	3

## 2023年度 出張講義・講演等一覧【高校生対象】について

学科	氏名	講義・講演テーマ等	講座内容
視能療法学科	岡 真由美	「 <b>眼の健康</b> 」 日常生活において視覚情報は重要な働きをしています。視覚の成り立ちを知り、見ることについて快適な高校生活を送るための眼の健康についてお話します。	2
		「 <b>立体的に見えるしくみ</b> 」 私たちの日常生活では物を立体的に見たり、奥行きのある景色を感じたりします。その機能の仕組みと、障害について解説します。	3
	河本 けい	「 <b>色覚のバリエーションとカラーユニバーサルデザインのお話</b> 」 色覚は視覚で情報を受容する上で大きな働きをします。しかし年齢を重ねること(加齢)や色覚異常の特性を持つことなどで、色の見え方が変わることがあります。このような場合でも、色により情報を伝えられるようにする対策の一つにカラーユニバーサルデザインがあります。ここでは、色覚のしくみからカラーユニバーサルデザインの背景、実施までをお話します。	3
		「 <b>ブルーライトのお話</b> 」 「ブルーライト」という言葉を聞かれた方は多くいらっしゃると思います。何かと有害なものと言われることもありますが、実際人体にどのような影響を及ぼすのでしょうか。眼科学、視覚科学の観点から考えていきます。	3
		「 <b>性多様性のお話</b> 」 近年、性的少数者(いわゆるLGBTQ+)の話題が注目を集めるようになってきました。社会における対応も徐々に進んできています。ここでは、自らトランスウーマンである演者の経験と知識をもとに、性の多様性についてお話します。	2, 3
	高崎 裕子	「 <b>視能訓練士って何?</b> 」 視能訓練士は“視覚の質”にかかわる仕事を通して社会に貢献しています。視能学を具体的に判り易くお話します。視能の世界をのぞいてみませんか?	1
	田邊 聖	「 <b>眼が2つある理由</b> 」 なんで眼は2つあるんだろ? なんで2つの眼で見たものが1つに見えるんだろ? 眼には不思議がいっぱい。眼が2つあることで生じる視覚の機能についてお話します。	3
		「 <b>視能訓練士って何をやる人?</b> 」 「視能訓練士」を知っていますか? 眼科で視力検査をする人? 何をやる人のんだろ? 視能訓練士は国家資格を有する医療従事者です。視能訓練士のお仕事について分かりやすくお話します。	1
	林 泰子	「 <b>見えにくいってどういうこと?</b> 」 「目が見えにくい」と思った時、それは何が原因なのでしょう? 実際にいくつかのシミュレーション眼鏡を使って普段と違う見え方を体験してみることを通し、視能訓練士がどのように関わっているかについてお話します。	1
		「 <b>健診と検診で何が違って、何がわかる?</b> 」 「健診」と「検診」、読み方は同じでも、実は、目的が違います。学校、自治体、会社、病院で行っているのはどちらの「けんしん」でしょう? 眼に関する「健診」と「検診」について解説し、眼の健康を維持するための日常生でできるビジョンケアについて分かりやすくお話します。	3
	藤田 美佳	「 <b>視能訓練士とチーム医療</b> 」 視能訓練士は、眼の検査や訓練などを行い、患者さんの大切な眼の健康を守るお手伝いをしています。多職種で医療専門職がある中で、視能訓練士がどのようにチーム医療に関わっているか具体例を挙げながらお話します。	3
	藤原 篤之	「 <b>見える! 仕組みを理解しよう!</b> 」 眼球はわずか24 mm程度の小さな器官です。しかし、その役割の奥深さから、眼は小宇宙に例えられます。どうしてモノが見えるの? そんな素朴な疑問を解決へ導くために眼の魅力についてわかりやすくお話しいたします。	2
		「 <b>子どもの眼の発達と健康</b> 」 子どもの成長は早いという言葉をよく耳にします。眼も同じくドラマチックな発達をとげます。そして、発達期間は、正しい環境を整え健康であることが大切です。眼の発達は、例えば身長が伸びるように外見からはわかりにくいものですが、視覚化してわかりやすくお話しいたします。	2, 3
		「 <b>見えにくい! 原因はメガネじゃなく眼の病気?</b> 」 普段かけているメガネが急にあわなくなった。これは本当にメガネがあわなくなったことだけが原因なのでしょう? 見えにくくなる原因は様々で、健康で豊かな生活を過ごすためにはまずは原因を知ることが大切と考えます。その原因についてわかりやすくお話しいたします。	3
	細川 貴之	「 <b>脳のしくみから考える効率的な学習法とは</b> 」 学校の勉強では覚えにくい、いけないことがたくさんあると思います。記憶に関する脳のしくみや、どうしたら効率的に記憶できるかという方法論についてのお話をします。	2
		「 <b>高次視覚情報の脳内処理について</b> 」 私たちがものを見るためには眼から入った視覚情報が脳で処理される必要があります。これまで多くの研究によって視覚情報が脳内でどのように処理されているのか調べられました。脳の視覚情報処理に関する研究について、分かりやすく解説したいと思います。	3
「 <b>価値判断の脳科学</b> 」 好き、嫌いといった価値判断が脳においてどのように行われているのか最新の知見を交えてお話します。		3	
三木 淳司	「 <b>眼と脳</b> 」 失明した方の生活は本当に大変です。このことから視覚という感覚の重要性はよくわかると思います。どのように我々が物を見ているかはこれまで研究者によって詳しく調べられています。	3	
山下 力	「 <b>高齢者に多く見られる眼疾患</b> 」 高齢者に多く見られる眼疾患として、白内障、緑内障、加齢黄斑変性などがあります。原因や自覚症状も様々です。これらの疾患について、できるだけ分かりやすく解説したいと思います。	3	
	「 <b>視機能の発達について</b> 」 赤ちゃんは生まれてすぐから大人と同じようにはっきり見えているわけではありません。成長とともに視機能は発達してきます。視覚が発達期に視的環境の影響を受ける未熟な期間もあります。これらについて、できるだけ分かりやすく解説したいと思います。	3	
	「 <b>あなたの利き目はどちら? ~遠近感を体験してみよう~</b> 」 視覚は感覚情報の約80%を担っているといわれ、私たちの生活は視覚に依存している。今回の授業では、利き眼について、立体感を得るための条件についての解説および体験学習を行う。日常生活を快適にするために両眼視を含む視機能は重要であることを理解してもらおう。	3	
	「 <b>眼と脳の関わり-視覚情報処理-</b> 」 眼で見た情報は網膜で信号に変換され、視神経を通して脳に送られます。脳がその信号を形や色として認識し、立体感のある映像が描き出されます。また、神経を経由して両眼の筋肉を刺激し眼球運動の制御をしています。これらについて、できるだけ分かりやすく解説したいと思います。	3	
米田 剛	「 <b>ライフスタイルが眼に及ぼす影響</b> 」 ライフスタイルの中でも食生活や規則正しい生活はよく話題に上がります。長時間の情報通信機器の使用、屋外活動の減少、ストレス、睡眠時無呼吸症候群、高血圧や脂質異常などは眼に影響を及ぼします。これらについて、できるだけ分かりやすく解説したいと思います。	3	
	「 <b>錯視について</b> 」 視覚は一度に多くの情報を処理しているため、ときに誤った情報を作りやすいとされています。そのため、我々は実在する対象を異なった性質で捉えてしまうことがあります。様々な錯視の図形や動画をお見せしながら、何故誤った捉え方をしてしまうのかを最近の知見を踏まえお話をさせていただきます。	3	
	「 <b>視能訓練士としてのチーム医療の関わり</b> 」 日常生活を送るうえで、眼からの入力情報は大きな役割を担っています。そのため、人の応答や行動は「見えている」か「見えていない」かで大きく異なります。視能訓練士はその人が「見えている」「見えていない」をどのように評価しているのか。それによって他職種とどのような関わりがあるかをお話をいたします。	3	
	「 <b>視覚障害のリハビリテーション</b> 」 視覚による情報収集が中心である現代社会において、視機能の喪失は大きな障害になります。視機能を失うことはどういふ事か。視覚障害者はどのようなリハビリテーションを行い社会復帰しているか。お話をさせていただきます。	3	
臨床検査学科	有安 早苗	「 <b>臨床検査技師の魅力:業務内容の多様性と多彩な活躍の場</b> 」 臨床検査技師免許、この1枚でできる仕事の多様性と、幅広い活躍の場が用意された臨床検査技師の魅力について紹介します。	1
	「 <b>がん診療における認定病理技師・細胞検査士の関わり</b> 」 診療現場に出かけ、がん診断・診療の前線で活躍する臨床検査技師、特に認定病理技師・細胞検査士の仕事について紹介します。	1	
	上野 浩司	「 <b>脳の発達と精神疾患について</b> 」 近年、自閉症や統合失調症などの精神疾患が増えています。まずは脳の正常な発達と脳が環境から受ける影響について理解を深めることが大切です。脳の発達、精神疾患の原因と可能な検査についてお話いたします。	3
	大倉 貢	「 <b>細胞形態の微細変化から病気を発見!</b> 」 顕微鏡を使って身体中の臓器や血球を観察し、その微細変化からわかる病気や治療効果の判定に役立つ事があります。どのようにするか?いくつかの事例を挙げてお話させていただきます。	3
大野 佑子	「 <b>血管年齢は何歳ですか?</b> 」 血管が硬くなること(動脈硬化が進むこと)で、心筋梗塞、脳梗塞等、様々な病気の発症リスクが高まります。検査の中には早期に動脈硬化を発見できる検査があります。動脈硬化と病気の関係、検査の種類について詳しくお話します。	3	

## 2023年度 出張講義・講演等一覧【高校生対象】について

学科	氏名	講義・講演テーマ等	講座内容
臨床検査学科	岡本 年生	「体の中を流れる電気信号…、電気生理検査」 神経細胞は細胞体と樹状突起、一本の長い軸索からなり、軸索の情報伝達は活動電位の伝達、つまり電気の伝達です。伝達が滞る、途中で途切れる、また、過剰な活動電位の発生など様々な不具合により、ヒトは機能不全に陥ります。この状態を把握する電気生理検査について、代表症例を挙げながら検査の種類、検査法、検査所見、症例の解説などについてお話しします。	2, 3
	片岡 浩巳	「医学を支える臨床検査情報の役割」 病気の予防や診断を行うために、臨床検査から得られた多くの情報が活用されています。現在、臨床検査情報がどのように活用されているのか、また、新たな病気の診断に利用可能な検査技術の開発に欠かせない知識発見技術の未来についてお話しいたします。	1, 3
	清渡 恵美	「ミクロからマクロの世界」 隣接する点が2点と識別できる最小距離を解像力といいます。ちなみに肉眼の解像力は約70 μmですが、光学顕微鏡は0.2 μm、電子顕微鏡では0.2nmとはるかに増加します。それぞれの世界では何がどのように見えるのか実際の画像を見ながらお話しします。	3
	黒住 菜美	「尿検査で何がわかるの？」 誰もが一度は受けたことのある尿検査。この検査では体内のどのような情報が得られるのかをお話しします。	1
	河口 豊	「感染症診療における臨床検査技師の役割～微生物検査について～」 感染症診療においては、細菌や真菌などの原因微生物を特定し、適切な治療に結びつけることが重要です。臨床検査技師が様々な微生物検査法を用いて目に見えない微生物をどのように検出しているのか、また治療に有効な薬をどのようにして調べているのかを紹介します。	3
	榊原 佳奈枝	「血液の中ではたらく細胞のおはなし」 血液はヒトをはじめとする動物が生きてゆく上で必要不可欠な体液です。その血液の中にはどんな細胞が含まれているのでしょうか？実際の顕微鏡写真を見ながらお話しします。	2
	陶山 洋二	「チーム医療の中の臨床検査技師」 医療全体の専門化・細分化・高度化、病気の多様化、患者の医療に対する知識の向上などの結果、医師だけで十分な医療を行うことが厳しい時代となりました。そこで生まれてきたのがチーム医療。チーム医療の中で検査のプロとしての臨床検査技師の役割を紹介します。	1
		「多職種連携・地域連携で活かすチーム医療」 超高齢化社会に突入したわが国ではチーム医療が欠かせない存在となりつつあります。多職種連携、地域連携、クリティカルパス、地域包括ケア、タスクシフトなどをキーワードにチーム医療の必要性についてお話しします。	1
	竹内 雅貴	「生き物のかたち:そのつくり方と遺伝子の不思議」 地球には様々なかたちの生き物があり、当然、私たち人間もその中に含まれます。どんなかたちでも、始まりは受精卵というたった一つの細胞です。一つの細胞から、どのようにしてかたちが作られるのか？かたち作りを行う遺伝子たちは、いつ、どこで何を決めているのか？各々のかたちはどこが一緒でどこが違うのか？そもそも「かたち」って何？最先端の研究も交えながら、生き物の本質についてご紹介いたします。	2, 3
		「ニュース解説:ここまで来た！遺伝子改変」 ゲノム編集技術から遺伝子組換え作物まで、遺伝子のいじり方について最新のニュースをネタに、高校生物にからめて解説します。	2, 3
		「ニュース解説:ここまで来た！再生医療」 iPS細胞の原理・応用から倫理的な側面の問題まで、再生医療について最新の最新のニュースをネタに、高校生物にからめて解説します。	2, 3
	田中 慎一	「がんの見つけ方とがん特性にあった治療」 がんは早期に発見することが重要とされています。がんを見つける・診断する・治療する。これらの工程において、臨床検査技師が担う役割について紹介し、最新のがん治療についてもお話しします。	1, 3
	通山 薫	「現代医療を支える臨床検査」 臨床検査には尿検査や血液検査、あるいは心電図や超音波検査などとても範囲が広いですが、いずれも病気の診断や治療にとってなくてはならないプロセスです。臨床検査は健康であることの確認、病気の予防にもとても大切です。その多くは臨床検査技師が担当しており、「病気の第一発見者」になることもしばしばあります。健康の番人である臨床検査をわかりやすく紹介します。	1
	近末 久美子	「細菌とウイルスの違いを知ろう」 病気の原因になる微生物には様々なものがあります。その中でも細菌とウイルスの相違を解説し、細菌検査や引き起こされる病気の説明をします。	2, 3
		「予防医学を考える」 ZUMBA®やストレッチで楽しく身体を動かしながら、予防医学を知り、自身の身体のしくみやココロのこと、公衆衛生、免疫力などについて学ぶ時間をもちたいと思います。	1, 3
中原 貴子	「血液には不思議がいっぱい～一滴の血液からわかること～」 私たちの血液には水・蛋白質・脂肪・糖など様々な物質が含まれており、多くの情報が詰まっています。身体の異常や変化の早期発見に役立つ血液検査(特に生化学的分析)について詳しくお話しします。	1, 3	
	「甘くない糖の話～糖の働きについて～」 皆さんが良く知っている「糖」ですが、体の中で栄養となるだけでなく、様々な役割を持っています。甘いだけじゃない糖の働きについて詳しくお話しします。	2, 3	
中桐 逸博	「新型コロナウイルス感染症と臨床検査」 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)を取り巻く臨床検査について、SARS-CoV-2の遺伝子および免疫検査法から臨床所見を中心にお話しします。	3	
診療放射線技術学科	天野 貴司	「X線画像の成り立ち」 X線画像が形成される仕組みを、カメラによる撮影方法と比較しながら解説します。	1
	荒尾 圭子	「乳癌の見つけ方」 乳癌は、日本人女性が罹る癌の一位です。乳癌の見つけ方と診療放射線技師の役割を解説します。	1
	荒尾 信一	「X線の発生」 医療で利用されているX線の発生原理やX線を利用した画像検査機器についてやさしく解説します。	1
	今泉 大将	「がんと放射線生物学～放射線治療への発展～」 がんとはどういふものなのか？放射線治療における生物学的な関わりとは？そして今の放射線治療について解説します。	3
	小野 敦	「MRI検査の安全性」 放射線による被曝が無いMRI検査は安全であると思いがちですが、実際は強い磁場による吸着事故やラジオ波によって人体内に生じる発熱などの危険性があります。それらの危険が生じるメカニズムと特徴を説明し、安全にMRI検査を受けるために知っておくべき知識をわかりやすく解説します。	3
	北山 彰	「放射線のサイエンスと医学的利用」 五感に感じない放射線を正しく理解して、医学における最新の放射線の利用について学びます。(デモンストレーション)(1)霧箱によるα線の観察(2)自然放射線の測定(3)α線、β線、γ線の進へ実験	2
	五反田 龍宏	「チーム医療と診療放射線技師」 CT、MRI、PET、放射線治療などに従事する診療放射線技師は、医療において必要不可欠な存在といえます。チーム医療の中での放射線を扱う専門性と役割をご紹介します。	1
		「放射線を測るといふこと」 放射線は、目に見えず、匂いもせず、音もなく、感触もありません。しかし、確実に存在します。この放射線を測ることの苦悩をわかりやすく解説します。	3
	五反田 留見	「女性と子どもの放射線被曝」 妊娠した女性がなぜX線検査を受けられないのか、子どものX線検査がなぜ簡単に行われないのかをわかりやすく解説します。	3
	竹井 泰孝	「放射線に被ばくしたらがんになるの？」 私たちは太古の昔から放射線と共存する生活を送っています。放射線には私たちの暮らしを便利にしたり、病気を見つけたり、治したりするなどの便利な特徴がある反面、不必要に放射線に当たると怪我をしたり、がんの原因となることもあります。そこで放射線の人体に対する影響を正しく知り、放射線を正しく怖がるための考え方を共に学びましょう。	3
	成廣 直正	「放射線治療技術の進歩」 がんの3大治療法のひとつに放射線治療がありますが、なぜ放射線のがんが治るのでしょうか？その仕組みとさまざまな放射線治療技術について解説します。	1
	林 明子	「放射線防護のおはなし」 特に医療に利用されている放射線に焦点をあてて、放射線に対する安全の考え方や、管理の実践についてわかりやすくお話しします。	3
	原内 一	「医療とコンピュータ」 現在の医療では、コンピュータは切っても切れない存在です。実際、どのようにコンピュータが使われるのか？また、コンピュータはどうして使われるのか？コンピュータで何が出来るのかをわかりやすく解説します。	1
	平塚 純一	「チーム医療はなぜ必要か？」 チーム医療はなぜ、そしてだれのために必要なのか？医療技術の進歩、専門化など最近の医療情勢の変化との関連性を踏まえ解説します。	1
	福見 敦	「放射線と放射能」 放射線とは何でしょうか？どのようにして発生するのでしょうか？原子核の崩壊現象や放射能、身の回りにおける放射性物質について解説します。	3
舛田 隆則	「X線CT」 医療現場で使用されているCT装置やCT検査においてわかりやすく解説します。	3	
三村 浩朗	「核医学診療に貢献する薬剤と検査装置」 聞きなれない核医学ですが、医学、薬学、物理学を駆使した学問で、生体機能の画像化や核医学治療など個別医療への貢献について解説します。	3	
矢納 陽	「医療と工学」 「医療」や「工学」と聞いてみなさんは何を思い浮かべますか。「制御」をキーワードにして、医療と工学の関わりを一緒に考えていきましょう。	3	

## 2023年度 出張講義・講演等一覧【高校生対象】について

学科	氏名	講義・講演テーマ等	講座内容
臨床工学科	安藤 誠	「医療機器ってなんだろう? ~病院で使われる医療機器と保守管理の実際~」 医療とともに日進月歩で進化する医療機器。実際の医療現場で用いられている医療機器を幅広く紹介するとともに、病院で行われている医療機器の保守管理の実際まで、医療機器についてわかりやすく解説します。	1
	大始良 義将	「豊かな生活を設計する“人間工学”の世界」 あなたが普段から利用するその道具や環境はなぜそんなカタチ・空間なのでしょう。もし病院が段差だらけだったら? 注射針がギザギザだったら? 椅子や机がいつまでもガタガタしていたら? すると世の中は安心安全・快適な設計で溢れていることに気づきませんか。そんな生活を設計するにはどの様に考えることが重要なのか、共に話し合い考えてみましょう。	3
	小川 武人	「人を測る ~医療と化学計測技術~」 医療では、血圧や脈拍といった身近なものから血液の中の化学物質まで、多くのものを測り、その情報を診断・治療に役立てています。医療で使われる計測技術について、とくに化学の視点から紹介します。	2
	小野 淳一	「生命維持管理装置を操るスペシャリスト:臨床工学技士」 一時的に生体の臓器機能を代行する生命維持管理装置である人工透析、人工呼吸器、人工心臓などを通して、これらの装置を操作、保守管理する臨床工学技士という職種について実際の医療現場での映像をふまえ、具体的にお話しします。	1
	片岡 真吾	「私とあなたとアバター—仮想空間の不思議—」 近年、仮想空間で多数の試みが行われており、医学の世界においてもその傾向が見られます。仮想空間でもう一つの体を得ることで起こる不思議な現象と、そこから派生する技術と展望についてお話しします。	3
	茅野 功	「暮らしと電磁界」 私たちは様々な家電製品に支えられて生活していますが、一方で携帯電話や電磁調理器などから放射される電磁波の人体に対する影響が心配されています。近年の電磁環境と生体への影響と安全性の研究についてわかりやすく紹介します。	2
	立花 博之	「生命維持管理装置って?」 名前は聞いた事がある人工呼吸器。しかし実際どんなモノだろう? 人工呼吸器をはじめ、人工心臓など生命維持管理装置を紹介します。病院で使われる医療機器を少しでも知ってみましょう。	1
	谷野 雅昭	「感染と消毒」 風邪も含め、感染症に一度もかかったことのない人はいないはずです。細菌やウイルスによる感染とその対策となる消毒についてを分かり易くお話しします。	2
	鳥越 貴之	「医療分野でのVR活用方法」 VRは、実際にその場にいないかのような臨場感を体験できる技術で、娯楽に限らず様々な分野で利用され、高い教育効果や効率性が期待されています。ここではVRの歴史と、特に医療分野でどのように活用されているかをご紹介します。	3
	福原 真一	「透析の仕組みについて」 現在、透析は我が国で4000を越える施設で実施され、その患者数は約30万人となっており、国民の400人に1人が透析患者になっています。透析の仕組みについて、その原理や周辺機器等を臨床工学技士の視点から分かりやすく紹介します。	1
	逸見 知弘	「さまざまなモータの仕組みと駆動方法」 みなさんの身の回りにたくさんある機器に利用されているモータですが、同じように医療機器にも大小様々なモータが利用されています。これらのさまざまなモータの仕組みと駆動方法について、目的ごとに分かりやすく説明します。	2
	望月 精一	「体内で生成する窒素酸化物のお話」 NO(一酸化窒素)という公害の原因物質というイメージが強いですが、実は体内でも生成しています。体内のNO(一酸化窒素)は、体にとってなくてはならない物質で、血管を拡張させるなどいろいろな役割をしています。そうした発見に対して1998年にノーベル賞が授与されています。ここでは、NO(一酸化窒素)の発見エピソードなども含めて解説し、活性酸素との関連も含めて、最近の研究についても簡単に触れたいと思います。	3
	矢田 豊隆	「血圧上昇と体への影響」 通常、血圧は、正常に保たれていますが、どの様な場合に血圧が上昇し、それによって起こる体に及ぼす影響についてお話しします。	2
山本 健一郎	「命を繋ぐ細い糸 ~中空糸膜を使った人工臓器の話~」 一見、何の要もない直径0.2 mmの細い糸ですが、その中心部はマカロニのように空洞となっています。これが中空糸膜です。人工臓器や人工肺では、この中空糸膜を用いてダメージを受けた臓器に代わり、血液中の老廃物を除去したり、ガス交換を行います。これらの人工臓器の仕組みや医学と工学の連携により進められてきた開発の歴史について紹介します。	1	
臨床栄養学科	青木 孝文	「腸内フローラを咲かせる食生活」 腸内フローラ(細菌叢)は、宿主であるヒトに影響を与え、健康を左右するという可能性が示されるようになってきました。そんな腸内フローラを、ヒトにとって好ましい状態にするための食生活のヒントについて、お話しします。	3
	遠藤 陽子	「がんと栄養」 がんと栄養の関わり、栄養補給や症状対応などについてお話しします。	3
	小川 希	「チーム医療における管理栄養士の役割」 多職種と関わりながら病院で働く管理栄養士の仕事内容や役割、やりがいなどについてお話しします。	1
	奥 和之	「生き返るミイラ、トレハロースの乾燥体眠特性」 クマシとかネムリユスリカのクリプトスピンスから応用研究まで	3
	河邊 聡子	「からだをつくる、食事の良いこと、悪いこと」 日頃の食生活を振り返り、現状を把握し、何に注意をして食事をすれば良いからだを作ることできるのか一緒に考えましょう。	2, 3
		「管理栄養士を知る」 病院や施設の中では、多職種が仕事をしています。その中で患者さんや利用者さんの食を支えるプロ、管理栄養士がどんな役割をしているのか説明します。	1
	神崎 圭太	「筋疲労と栄養」 筋疲労(運動時や運動後にみられる筋力低下)は競技パフォーマンスを低下させるため、スポーツ選手にとって大きな問題となります。筋疲労の原因や各栄養素の役割から、疲労の発生を遅らせたり、回復を速めたりするポイントについて、栄養面から考えます。	2, 3
		「カラダづくりと運動・栄養」 適度な運動と栄養は筋肉の発達を促しますが、栄養や運動の不足は筋肉の量・質を低下させます。栄養と運動が筋肉を変化させるしくみから、筋肉の発達・維持のために適切な栄養と運動とは何かを考えてみましょう。	3
	瀬部 真由	「目指せ“理想のカラダ”! ~体組成計を活用しよう~」 健康管理のパートナーとして、体の構成成分(筋肉量、体脂肪量)を測定できる体組成計が目まぐるしく使われています。体組成計から得られる情報を活用して、健康的かつ理想的な体を作るために必要な食事・運動について考えてみましょう。	2
		「自分の体は自分で守るための食生活」 高校生活が始まると、手作りのお弁当やコンビニのお弁当で昼食をする機会が増えます。また、高校卒業と同時に一人暮らしをする方もおられることでしょう。一日に何をどのくらい食べると良いのでしょうか。健康な体づくりのための食事についてお話しします。	2
	武政 睦子	「管理栄養士の出番が来た」 管理栄養士は、科学的エビデンスに基づいた「栄養の指導」を通して、あらゆる人びとの栄養・食事・健康に貢献します。活躍の場は、行政職(公務員)、病院、福祉施設、保育園、企業等です。令和2年度の診療報酬改定において、病院や福祉施設等では管理栄養士が行っている業務やスキルが多方面で評価され、栄養管理の重要性がさらに高まりました。管理栄養士業務のやりがいと社会のニーズについてご紹介します。	1
	中村 博範	「栄養学を学ぼう」 なぜ食べる必要があるのか、栄養素が不足したらどうなるのか。いのちの基本である「栄養」について考えてみましょう。	2, 3
		「病棟の管理栄養士は何してる?」 給食づくりだけが管理栄養士の仕事ではありません。病院の管理栄養士は、栄養面から患者さんの治療をサポートしています。病院の管理栄養士の仕事についてご紹介いたします。	1, 2
	藤澤 早美	「からだに必要な食物繊維」 食物繊維はさまざまな種類があります。食物繊維を多く含む食べ物やからだへの働きを知り、食事に取り入れるコツについてお話しします。	3
		「チーム医療における管理栄養士の役割について」 管理栄養士は、さまざまな職場で働いています。特に医療機関で働く管理栄養士の仕事の内容ややりがいについてお話しします。	1
松本 義信	「自分の食生活を覗いてみよう」 日常の自分の食生活をふりかえりつつ、ヒトにとって必要な食事・栄養について考えてみましょう。	2	
三浦 紀称嗣	「食品添加物のホント、教えます」 食品添加物は危険? 安全? どうして使われている? 気になるヒトは気にしてる。食品添加物についてお話しします。	3	



## 2023年度 出張講義・講演等一覧【高校生対象】について

学科	氏名	講義・講演テーマ等	講座内容
臨床栄養学科	三宅 沙知	「チーム医療の中で活躍する管理栄養士」 人が生きるために必要な行為。それは食べること。もし病気で食べられるものが制限されたら？口から食べられなくなったら？管理栄養士は医療の現場でどのように貢献するのでしょうか。個人に合わせた食事支援を行っている管理栄養士の仕事についてお話しします。	1
		「あなたが選ぶ健康食品、本当にいいの？～情報を正しく読むには～」 なぜあなたはそれを選んで食べるのでしょうか。あまりに日常的な食べ物という行為、健康に気を使っているつもりが、じつは見せかけの情報に騙されているかも！？ 食事や栄養に関する知識や情報の読み方についてお話しします。	3
	宮田 富弘	「不思議な食品表示 - 食品表示の読み方 -」 身の回りには食品にはパッケージにたくさんの表示があります。でも、中にはよくわからない表示や不思議に思う表示もあります。そもそも表示の見方や意味がわからないという人も多いのではないのでしょうか。そこで、いくつかの食品表示を取り上げて、食品表示の読み方、意味をお話しします。食物を選ぶ際にきっと役立ちます。	3
	村上 圭史	「微生物と疾患、健康」 私たちは無数の細菌やウイルス、カビなどの微生物に囲まれて生活しています。微生物は様々な感染症の原因となり、中にはガンを引き起こすものもあります。一方醤油や納豆などの発酵食品には欠かせない、我々の生活を豊かにしてくれる仲間でもあります。さらに最近では、我々のお腹にいる腸内細菌が健康に大きく関わっていることも分かってきました。このような微生物の多彩な役割を紹介します。	3
	山崎 幸	「中食の上手な食べ方」 中食とは、コンビニやファーストフード、スーパーなどで売られているお弁当やお惣菜を買って、お家や学校などで食べることです。勉強や部活に忙しい毎日を元気に過ごすためには、中食のメニュー選びについて正しい知識を身に付けておくことが大切です。中食の“選び方のコツ”や“最強の組み合わせ”について紹介します。	2, 3
	四元 晴輝	「スポーツと栄養」 スポーツ選手のパフォーマンス発揮やコンディショニングは適切な栄養摂取によって高めることができます。競技特性を考慮した栄養摂取や目的・対象者別の食事管理(エネルギー不足、ウエイトコントロール、貧血予防と改善、試合期の栄養補給、ジュニアスリート)など、スポーツ栄養全般に関する情報を提供します。	2, 3
健康体育学科	石本 恭子	「お酒と健康～ヒマラヤ地域の飲酒文化から考える～」 飲酒による身体への影響と、東ヒマラヤにおける伝統的な酒類と暮らしの豊かさとの関わり、およびその変容について主にネパールの事例を紹介します。	3
		「高齢者の健康～フレイルって何？～」 高齢期はフレイル予防が重要であるといわれています。「フレイル」について概説します。スクエアステップなど、予防のためのエクササイズを実践しながら紹介します。	3
	小野寺 昇	「トレーニングと成長ホルモン」 成長ホルモンは体を大きくします。トレーニングの仕方(強弱や時間)によって分泌が変わります。	3
		「クーリングダウンが次の日のコンディショニングを変える」 今日のクーリングダウンの仕方が明日のコンディショニングを整えます。	3
	小柳 えり	「休息時の体温管理こそ大切」 遠征などでの効きすぎたクーラーで過ごした次の日のパフォーマンスは残念な結果になります。	3
		「からだに脂肪がつく・つかわれる仕組み」 からだに脂肪がつく仕組み、つかわれる仕組みについてお話しします。	3
	川島 将人	「筋肉が損傷した後の再生・修復過程を知り、適切な対処を考える」 骨格筋が損傷してしまった後、どのように治っていくのかについて考えたことはありますか？その過程における様々な細胞同士のダイナミックなやりとりについて説明します。そして、筋損傷を早く治すための適切な対処について一緒に考えたいと思います。	3
	岸 誠司	「緊急出動の仕事」 突然起こる災害、事故、急病などに様々な機関が緊急出動し人命救助にあたりますが、その仕組みや資格について消防を中心にお話しします。	1
		「知っておきたい応急手当(実習)」 知識として知っている応急手当、実際にできるでしょうか。身の回りにはある物や安価に購入できる物で実習します。	2
	朱 容仁	「中高齢者の骨の健康と身体運動」 骨粗鬆症の定義や原因を述べ、予防の必要性と予防に対する身体活動の重要性についてお話しします。	3
		「50年後の骨粗鬆症を防ぐために - 運動と骨の健康」 各種スポーツや身体活動が骨量および骨強度に与える影響について紹介・解説します。	3
	須谷 弥生	「学びについて問い直す」 人が学ぶとき、どのようなことが起きているのでしょうか。思想的なアプローチからこの問いについて考えていきます。	3
	諏訪 英広	「地域とともにある学校」について考えてみませんか？ 子どもや大人が共に育ち、学ぶことができる学校や地域とはどのようなものなのでしょうか。“地域とともにある学校”という視点から、学校—家庭—地域の連携・協働のあり方と具体的方法等について、具体的に考えてみませんか？	3
	田島 誠	「スポーツ選手のためのメンタルトレーニング」 スポーツ選手が実力を十分に発揮するために必要な心理面のトレーニングやコンディショニングについて紹介・解説します。	2, 3
「運動学習とパフォーマンス」 人が運動を学習する際に生じる現象や効率よく運動を学習するための指導方法等について紹介・解説します。		2, 3	
桃原 司	「スポーツコンディショニング」 スポーツ選手がより良い状態で試合に臨むために必要な各種トレーニング法について、実技を交えながら紹介・解説します。	2	
中尾 有子	「女性とスポーツについて」 女性がスポーツを一般的に行うようになった現代までの変遷をご紹介します。また、女性にとって健康のパロメーターでもある月経との付き合い方についてもお話しします。	3	
中川 麻衣子	「体育・スポーツ・健康」に関わる仕事」 体育・スポーツ・健康づくり等に関わる様々な職業とその内容、必要な資格などを解説します。	1	
	「ランニング入門(講義・実技)」 生涯スポーツとして広く親しまれている「ランニング」。その楽しさを講義及び実技を通して体験してみましょう。	2, 3	
難波 知子	「生活習慣と自己肯定感～自分を好きになるヒント～」 マズローの5段階欲求説を基にして、生活習慣の確立が自己肯定感を育むことと大きく関連していることを活動を通して学びます。	3	
	「自分と他者との心地よい“あいだ”づくり～構成的エンカウンター体験を通して～」 構成的エンカウンターとは、リーダーの示すゲームやエクササイズを行う「心と心のキャッチボール」活動を通して自己効力感や自己受容感を実感する体験です。自分と他者との違いや共通点を知り、理解しあうことで、互いにとって心地よい“あいだ”づくりのサポートに役立てていただけるものと考えています。	2	
西田 裕明	「食物アレルギーから命を守るために、あなたにできること」 食物アレルギーの基礎知識と、食物アレルギーのある人が自分自身で自分の命を守る方法(自助)、周りの友達ができる方法(共助)についてお話しします。病気を抱える人に対するセーフティネットについて、共に考えましょう。	1, 2, 3	
	「特別支援教育”共生社会の実現”について考えよう」 障害のある方が、障害のない方と共に働くことができる社会の実現のために、何ができるか一緒に考えてみましょう。	2, 3	
西本 哲也	「モデリングの不思議」 成長の過程で、誰にでも優しい子に育ったり、暴力的な子どもに育ったり。どのような要因でそうなるのかな。一つの要素にモデリング(観察学習:身近な人の模倣)が関係しているかもしれません。モデリングについて一緒に学んでみませんか。	3	
	「スポーツにおけるセルフコンディショニング」 スポーツにおける効果的なウォーミングアップやクールダウン、痛みの管理、面白い筋力増強やセルフストレッチの方法について紹介します。	3	
濱田 大幹	「老若(おいて行くことを学ぶ)」 どうしておいちゃん、おばあちゃんが大好きなの？なぜおいちゃんおばあちゃんは優しいの？老いて行くことを学び、いのちの大切さを一緒に考えてみましょう。	3	
	「健康とテクノロジー」 健康とICT機器の利活用、テクノロジーとの関わりを紹介します。	3	
藤野 雅広	「運動と遺伝子」 遺伝子が骨格筋形成や運動能力の関与する可能性について紹介します。	3	
	「発達障害をもつ子どもとの関わり方」 近年、増加傾向にある発達障害をもつ子どもたちに対する運動を通じての関わり方について解説します。	3	

## 2023年度 出張講義・講演等一覧【高校生対象】について

学科	氏名	講義・講演テーマ等	講座内容
健康体育学科	藤本 誠	「中学校・高等学校の教育現場・教科教育(保健体育)に関すること」 現在の教育現場の実情や課題、新学習指導要領に沿った今後の教科教育(保健体育・特に武道(柔道を中心に)の在り方などをお話します。	2
		「柔道(講義・実技)」 自身の競技者・教育者・指導者・全柔連強化スタッフ(科研)・JOC柔道強化スタッフ(情報)としての経験を活かし、今後の柔道界における様々な場面における教科柔道と競技柔道の在り方、2024年パリオリンピック柔道強化についての現在の取り組みや活動をお話します。	3
	松生 香里	「アスリートのコンディションと腸内環境 ～一般人の運動・栄養・休養とのちがいは～」 一般人のからだを基準に、アスリートのからだとの違いをみつけ、運動・栄養・休養について、一緒に考えていきます。	3
	宮川 健	「スポーツ科学実習(バイオメカニクス)」 身体運動中の動きや力を定量的に(数値で)解析する方法について解説します。	3
		「剣道(実習)」 木刀による剣道基本技稽古法を中心に剣道の礼作法ならびに基本動作を実習します。	2
	山形 高司	「乳酸は疲労物質じゃない！」 “乳酸”に貼られた疲労物質というレッテルは、科学の進歩によって剥がされました。運動や健康についての研究は、どんどん新しいことを発見しています。これらの発見は、スポーツのパフォーマンスを高めたり、人々をより健康に導くことに役立ちます。トレーニング科学や健康科学の最新研究をのぞいてみましょう。	3
	矢野 博己 Micheal J. Kremenik (M.J.クレメニク)	「英語で学ぶ健康体育」 チーム・ティーチングで体育実技をしながら基礎的な英語を高校生向けにわかりやすくレッスンします。	2
	依田 健志	「アジア・アフリカの子どもの健康」 途上国の子ども達はどんな生活をしているか知っていますか？日本の子ども達に負けないくらい勉強している子ども、学校に行きたくても行けない子どもなど、アジア・アフリカの子ども達の生活と、健康問題について現場での経験を基に紹介します。	3
		「本当は怖い感染症の話」 熱が出たら、「あ、風邪かな？」と思うのが普通ですが、風邪とインフルエンザの違いは知っていますか？他に熱がでる病気は知っていますか？日常生活でかかる可能性のある感染症の話や、わかりやすく解説します。	3
	米谷 正造	「心と身体を結びつけるスポーツの素晴らしさ」 スポーツの素晴らしさは単に健康に寄与するだけではありません。スポーツは私たち人間の心と体と結びつけてくれ、より人間らしく成長させてくれます。	2, 3
脇本 敏裕	「競技スポーツと健康づくりのための運動」 体育の授業や部活動を通して、競技スポーツに取り組んでいる人も多いと思います。他者と競争したり、自己の限界に挑戦する競技スポーツと健康づくりのための運動には共通点と相違点があります。それぞれの運動の特徴を紹介し、健康づくりのための運動について解説します。	3	
	「健康運動指導士」という仕事 食事・休息・運動は健やかな心と体を育むために大切な要因です。“健康運動指導士”とは健康づくりのための運動を指導するスペシャリストです。健康づくりのための運動とはどのような運動なのか、健康づくりのための運動の特徴を説明し、健康運動指導士の仕事を紹介します。	1	
医療福祉経営学科	坂本 圭	「家族介護が必要になったら」 身の回りの家族が、突然倒れてしまったらあなたはどうしますか？そんな時、頼りになるのがさまざまな社会保障制度です。この授業では、身近な例を挙げ、利用できる制度を紹介しながら、より良い社会保障制度を皆さんと共に考えていけたらと思います。	2
	柴山 麻祐子	「医療福祉データウォッチング」 テレビや新聞で取り上げられる医療問題や介護問題などの「医療福祉」に関するデータを用いて、その具体的問題点や、社会全体が良くなるための仕組みを考えてみましょう。	2
	清水 昌美	「医療マネジメントって何？」 病院にも企業と同じように経営感覚が必要になってきました。その理由を、医療を取り巻く環境の変化や医療制度の動向から考えてみましょう。また、実際のマネジメントとはどうあるべきかも考えてみましょう。	3
	須藤 芳正	「会計の役割」 会社(組織)の経済活動(モノやサービスを生産・販売する活動)の結果は、最終的に貨幣という尺度で評価されます。社会では、その数値(金額)をみて「この会社は良い会社だ、ちょっと危ないかな」などと会社を評価します。したがってその数値の計算システムは、誰が見ても納得できるものでなくてはなりません。講義では経済活動を貨幣で評価するための計算システム(複式簿記)と、その結果の見方(経営分析)について、わかりやすくお話ししたいと思います。	3
	谷光 透	「病院・社会福祉法人の会計について」 病院・NPO・社会福祉法人の会計は、企業会計と比較した場合に、異なる部分が多くあり、理解が難しいと思います。では、なぜ異なる部分が多くあるのか？について、分かりやすく説明したいと思います。	3
	樞石 秀信	「病院経営におけるマネジメントスタッフの役割」 病院経営は診療を行う医療スタッフ(医師、看護師等)によって支えられていますが、マネジメントスタッフとしての事務職が医療スタッフが働きやすい環境づくりをしているからこそ、成り立っているという側面もあります。実際に病院のマネジメントスタッフがどのような仕事を行っているか経験をもとにお伝えします。	1
	平田 智子	「高齢者の生活を支える年金制度」 私たちの老後生活の根幹を支える主なものに公的年金制度があります。将来、みなさんも加入することになる制度について一緒に学び、この給付はどのように支えられているのか、一緒に考えてみましょう。	2
	渡辺 裕一	「人口減少社会とマーケティング」 これからの日本は劇的な人口減少社会が到来します。高齢者の増加と少子化、現役世代の減少は確実にやってきます。例えば岡山県の85歳以上の人口は、25年後には1.4倍に膨れ上がると予測されています。将来の人口推移データから、日本の社会がどのように変化していくのかを考えてみましょう。またどのようなビジネスが成長していくのか、医療福祉サービスに求められることは何か、などマーケティング的な観点から考えてみましょう。	2
		「論理的思考力をつける」 論理的思考力とはものごとを、筋道を立てて体系的に考える能力のことです。このスキルを身につけると、小論文などの論理的な書力はもちろん、課題発見、計画立案、実践にうつすチカラなど、生活に必要な能力を強化することができます。	2
	医療情報学科	秋山 祐治	「地域での医療情報連携」 これからの医療は、地域のかつどの医療機関等が協力し、病名や検査結果、投薬内容などの情報を共有しながら、効率的・効果的な診療を実施していくことが大切です。情報漏洩を防ぎ、安心・安全に医療情報を連携する仕組みについてお話します。
阿南 誠		「患者さんの命をまもる診療記録」 医療の現場では、直接的な治療行為ばかりが脚光を浴びますが、実はその基盤を支えているのは診療記録であり、また、その管理は極めて重要な役割を持っているのでそれをアピールしたいと思います。	1
大井 悠成		「情報技術で医療を支える」 医療のIT化が進んでいる今、医療現場で情報技術を使える人材の需要が高まっています。どのように情報技術で医療を支えるのか、演習をふまえて、説明していきます。	1
佐藤 修平		「画像でみるヒトの体の中」 コンピュータ技術の発達に伴って、現代の医療ではCT、MRI、PETなど様々な画像診断が行われ、メスを使わなくても病気の診断ができるようになってきています。これらの技術がどのようにして開発されてきたのか、そしてそれを使えばどのように体の中を観察することができるかを紹介します。	3
谷川 智宏		「情報とは」 情報技術、情報社会、世の中には情報という言葉があふれています。情報とは何なのか、情報のもつ力とは、うまく情報とつきあうためにはどうすればいいのかなどをお話します。	2
本野 勝己		「病院事務職のお仕事」 安全で信頼される病院運営を維持していくためには、病院事務職が大きな役割を果しています。余り知られていない病院事務職員のお仕事について、自身の経験から分かりやすく解説します。	1
三田 岳彦		「WHOによる健康の考え方」 世界保健機関(WHO)は、健康を「からだやこころに病気がないというだけでなく、日常生活や社会生活の場面においても完全に幸福な状態」と定義しています。本講座では、この考え方に基づく人間の理解の方法やあらゆる生活場面での活用法を紹介します。	2, 3
虫明 昌一		「SNSとの正しい付き合い方」 SNSは便利なツールである一方、使い方を間違えると「ネット炎上」などのさまざまなトラブルに巻き込まれてしまいます。正しく使いこなすために情報リテラシー、ネットリテラシーを身につける必要があります。本講座では法律やルール、マナーについてお話します。	2
渡邊 佳代		「診療情報管理士の仕事について」 チーム医療を行う上で医師やメディカルスタッフが作成する記録は非常に重要な役割を担っています。その記録を管理・活用することで、医療の質向上に貢献する診療情報管理士の仕事の一部を実際に体験してもらいながら、その重要性や業務内容をわかりやすく解説します。	1

## 2023年度 出張講義・講演等一覧【高校生対象】について

学科	氏名	講義・講演テーマ等	講座内容
医療秘書学科	荒谷 真由美	「聞き手に届くプレゼンテーション」 内容のまとめ方、見やすいスライドの作り方、聞きやすい話し方のポイントを知って、プレゼン力をアップしましょう。	2
	黒木 由美	「医療費領収書や明細書から、医療事務業務を学びましょう」 医療機関を受診後に受け取る医療費領収書や明細書の内容を確認することで、医療事務業務(受付・計算)やその必要性を学ぶことができます。一緒に見ていきましょう。	1, 3
	田中 伸代	「医師をサポートする医療秘書・クリニカルセクレタリー」 より良い医療提供のために、医師の秘書、また医療チームのマネージャーとして段取りよく仕事を進めます。その役割や必要な能力等について考えてみましょう。	1
	田村 久美	「よりよい関係を築くために～伝え方と聞き方～」 私は私。他者は他者です。同じ人は誰一人として存在しません。性格や考え方が異なる相手であっても、よりよい関係を築くことで生活が豊となり、仕事を円滑に進めることができます。その基本となるのが「相手に配慮した会話のマナー」です。相手に伝わる話し方、相手の立場に立った聞き方について、皆さんの日頃の会話を振り返りながら一緒に考えてみましょう。	2
	筑後 一郎	「社会に浸透している情報環境とモラル」 私たちは、スマートフォンを始め、インターネットにつながった情報機器端末に囲まれて暮らしています。しかし、これらはとても個人的な情報が含まれており、それが漏れたことで多大な被害を被った人も少なくありません。twitterやFacebook等を楽しんでいる人も多いと思いますが、そうした便利なサービスを利用する際に、最低限注意しなければならないことについて考えたいと思います。	2
	ティム・クレモンソン	「異文化理解と非言語コミュニケーション」 世界中に挨拶に関する考えはそれぞれあります。初めての挨拶で第一印象が決まります。従って、挨拶は人間関係に強い影響を与えます。国際化している日本の中で異文化に対する適応性が大事になってきました。この講義で異文化を通じて、挨拶と非言語コミュニケーションを勉強します。	2
	山本 智子	「医療制度の歴史からみるわが国の今後の医療」 私たちは、病気を治すには、すぐに病院などで治療を受けることができます。このような制度はいつ頃からできたのでしょうか。わが国の医療制度の歴史をさかのぼるとともに、わが国の今後の医療について展望してみましょう。	2, 3
		「チーム医療を支える医療秘書の行動からマネジャーシップを考える」 優れた部活やアスリートを支えるチームには優れたマネジャーがいるように、優れたチーム医療を行う現場には優れたマネジャーシップを発揮する医療秘書がいます。医療秘書の行動から、マネジャーシップとはどのような行為なのか、なぜ重要なのかを考えてみましょう。	1, 3
		「進化するチーム医療で求められる人材」 最近、診療放射線技師、薬剤師、事務長など医師以外が主役のドラマが注目を浴びています。医療はチームで行われます。そのチームにはどのような人材が求められるか一緒に考えてみましょう。	2
医療福祉デザイン学科	青木 陸祐	「ユニバーサルデザインについての基礎知識」 ユニバーサルデザインってなんなの？素朴な疑問から学習を進め、理解を深めます。	3
	岩藤 百香	「何が分からないか分かりません！を防ぐ情報のデザイン」 医療福祉の現場ではたくさんの情報が発信されていますが、専門的な内容は分かりづらく、関わる人たちのコミュニケーション不全を起こすこともあります。チーム医療の一員として「楽しい・分かりやすい・正しい」伝達を担うデザイナーについてお話しします。	1
	合田 喜賢	「住まいのなかの医療福祉デザイン」 「衣食住」という言葉があるように、「住」＝住まいは、わたしたちにとって最も身近な場所であるといえます。日本における住まいの変遷や特徴について学び、問題点を見つげながら、高齢者・障害者の方にとってどのようなデザインが求められるか学んでいきます。	2, 3
	中村 俊介	「情報を分かりやすく伝える方法」 医療福祉の現場で活用されているグラフィックデザインの事例を中心に、誰が見ても分かりやすく伝わりやすい情報のまとめ方を紹介します。	2, 3
	森 絵美	「病院広報の仕事について」 病院の中で「広報」という仕事があることをご存知ですか？病院で情報発信や環境整備を行い、病院と病院利用者をつなぐ重要な役割を担っています。病院広報の仕事の一部を紹介しながら、その必要性と仕事内容をわかりやすく解説します。	1
	山形 千星子	「マスメディアとメディカルイラストレーション」 雑誌・TV・Webページなど、実は日常生活の知らない内に、私たちはメディカルイラストレーションを目にしていることがあるのです。医学・医療に関する情報を「意図を考えて描く」という、伝えることの楽しさと、なぜイラストが必要なのかをお話します。	1
	横田 ヒロミツ	「CGや3Dプリントスキルで医療福祉でクリエイティブな仕事！」 コンピューターグラフィックスや3Dプリントを活用した医療福祉でのクリエイティブな仕事について、デモンストレーションとたくさんの画像を使って分かりやすく解説します。	1
		「生きてる人の体内が見える！医学医療に貢献するメディカルイラストレーションを知ろう！」 医学医療の情報を視覚的に分かりやすく伝えるメディカルイラストレーション。最新のテクノロジーで生きてる人の体の中を見ることができます。今注目を浴びているメディカルイラストレーションを概説し、そのニーズと可能性についてお話しします。	1, 3
総合教育センター	飯田 淳子	「社会を観察してみよう！」 人間の行動は、知らず知らずのうちにその社会の暗黙のルールや文化の影響を受けています。そうした言葉になりにくいことについて、文化人類学では「参与観察」という方法を用いて調査します。この調査法は現在、医療・福祉の研究や、企業のマーケティングリサーチ等でも用いられています。その基礎の基礎を、体験を通じて学びましょう。明日から世の中の見方が変わるかもしれません。	3
	北澤 正志	「小論文の書き方」 小論文(意見文)の書き方について説明します。簡潔かつ説得力のある文章を書くためのポイントを解説します。	2
	姜 波	「グローバル社会に向けて異文化理解の意義を考える」 多民族、多文化の交流は、社会の進化を促します。違う文化背景の人とのコミュニケーションは、自分の思いを伝え、他人の言葉を傾聴し、寛容でオープンな心をもつことが大切です。具体例を交えて、実践重視し、分かりやすくお話しします。	3
		「上海研修を通しての異文化理解」 川崎医療福祉大学では、毎年、上海研修をおこなっています。上海の高齢者施設・病院などを見学し、上海の複数の大学と交流します。この講義では、「中国の医療福祉」と「上海研修の様子」を紹介し、異文化理解を深めます。	
	小池 大介	「データベースを使ってみよう！」 普段気がつかないかもしれませんが、駅やコンビニなどの身近な場所でデータベースが活用されています。Microsoft Accessを使ってデータベースを体験してみましょう。	3
	小崎 順子	「ナースのお仕事in English」 医療現場で使われる英単語や英語表現について、易しいものを学んでいきましょう。	2
	後藤 大輔	「セルフコーチング・スキルを身につけよう」 競技スポーツの観点から、自分の目標達成に向けて導く方法についてお話しします。	2
		「器械運動(実習)」 マット運動、とび箱、鉄棒における基礎技・応用技を実習を通して学びます。	2
	申 東憲	「兵役から見えてくる世界」 隣の教育システムは日本とほぼ変わりませんので、人々のライフ・サイクルもほぼ変わらないことが予想されますが、男性にのしかかる徴兵制度のため、実際は大きな違いが出てきたりします。その内容を紹介します。	3
	杉原 尚	「“へその緒”が白血病患者を救う」 高校の理科(生物)の延長で話が可能ですが。	3
	園田 祐治	「身体の中の個性:心臓と血管」 人の顔がそれぞれ違うように、内臓の形にも個性があるのをご存知でしょうか？本講座では、心臓・血管の構造・走行が、人によって違いがあることをご紹介します。	3
	長木 愛	「英語で異文化間コミュニケーション」 言葉や文化の異なる人とコミュニケーションをとるときに、気をつける点とは？異文化間で誤解が生じた実例をもとに、誤解の原因や回避策を英語でディスカッションしたりロールプレイしたりして、異文化間コミュニケーションについて考えてみましょう。	2
	西脇 藍	「日本舞踊 知ってるつもり!?!」 日本の伝統芸能の日本舞踊。その動きや音楽には日本古来の美しい季節や心情が込められています。簡単な実技を通して、洗練された所作と和の精神に親しんでみませんか。	3
林原 エヴィン	「Dyslexia(読み書き障害)について」 I will talk about Dyslexia in Japan and around the world. How is Dyslexia different in Japanese, English and German.	3	

2023年度 出張講義・講演等一覧【高校生対象】について

学科	氏名	講義・講演テーマ等	講座内容
総合教育センター	福島 康弘	「記憶の脳内メカニズム」 人が記憶をするときの脳の変化を、「神経科学」と「簡単な数学モデル」を使って説明します。	3
		「生活習慣と学習・記憶」 皆さんが日々おこなっている学習・記憶を効率的におこなうためのヒントについてお知らせします。また、日々の生活習慣との関係についても説明します。	2
	文谷 知明	「ダイエットの問題点を考える」 偏ったダイエット法により体重を減らした場合のからだの変化を、脂肪や筋肉、骨の観点からお話します。	2, 3
		「歳と筋肉痛の関係」 歳と筋肉痛の起こる時期には関係があるのか、予防や軽減にはどのような方法が有効なのかお話しします。	2, 3
	Prevatt Jon	「Improve English Speaking Fluency. Describing words you don't know.」 流れるように自然な英語で話せるようになること、そして長いフレーズを使わなくても会話が続けられる英会話を学びましょう。講座はすべて英語で行いますので、生きた英語が体験できます。	2
	門利 知美	「運動・スポーツとメンタルヘルスについて」 身体を動かすことにより得られるところへの効果について、心理的ストレス(特に心理的ストレスに対する性格特性)に着目しながらお話しします。	3
山根 真由美	「英語で絵本を読みましょう」 川崎医療福祉大学の学生になっつもりで英語の絵本を読んでみませんか？	2	